

令和7年度
聖徳大学大学院 博士前期課程
言語文化研究科 日本文化専攻

春学期入学 C日程

(令和7年2月9日実施)

< 専門知識 >

受験にあたっての注意

1. 「問題」と「解答用紙」は、別になっています。
2. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
3. 問題用紙の表紙と、解答用紙各ページの指定欄に「受験番号」、「氏名」を必ず記入してください。
4. 配付された問題用紙、解答用紙は、すべて提出してください。
5. 試験終了後は、答案の回収、確認が全て終わるまで、着席しててください。
6. 携帯電話などの通信機器の電源は切っておいてください。
7. 不正行為のあった場合は、ただちに受験を停止させ、受験を無効にするとともに、その後の受験は認めません。

解答にあたっての注意

1. 解答用紙の（ ）の内に、自分の選択した問題番号を正確に記入して、解答してください。

研究科名	言語文化研究科 日本文化専攻 博士前期課程	受験番号		氏名	
------	--------------------------	------	--	----	--

【問題は次のページから】

< 専門知識 >

次の**問題 1**から**問題 5**の中から、**2題**を選んで、論述しなさい。
(1問につき、解答用紙1枚を使用すること。)

問題 1 日本は近代において、他国や他地域の文化をどのように受容したのでしょうか。具体的に事例を1つあげながら、説明しなさい。

問題 2 日本における宗教文化の特徴について、具体的に事例を挙げながら説明しなさい。

問題 3 『源氏物語』が中世以降の日本文学や日本文化に与えた影響について、説明しなさい。

問題 4 現代日本語の語種（和語・漢語・外来語・混種語）について、具体例を挙げながら説明しなさい。

問題 5 文法訳読法の長所と短所について、具体例を挙げながら説明しなさい。